

第1回

2008年度作品

阿賀北

ロマン賞



25th!! TAINAI STAR PARTY
at Tainai hill, Tainai-Shi, Niigata pre.Aug.22(Fri)-24(Sun)

胎内星まつり

2008 真夏の夜の祭典

8月22金 午後 ▶ 24日 正午

会場 / 新潟県胎内市胎内平

参加・入場無料 会場内で行われるいくつかの体験イベントや
自然天文館への入場は有料となります。

夏休みの思いでは胎内星まつりで!
大自然のもと、昼夜にわたる多彩なイベントと満天の星。
四半世紀の歴史を刻んできた「世界最大の星まつり!!」

夏は、お盆の花市の帰りは流れ星をいくつか見ての帰路である。また、お墓参りは、往復牛車に揺られ、帰りは星空を眺めての家路

私が、星空を見るようになったのは幼年期からである。

第三は、新潟県の教師を退職と同時に『塩津潟教育研究所』を設立したことである。退職記念に、『塩津潟は塩の道』を新潟日報社事業部から出版できたことは幸運なことであった。

第二は、ライフワークの研究課題が「月」と「北極星」と、密接に関わっていたことである。

市立の学校に赴任したことは、とても幸運なことであった。その間に、社会科副読本や教育用資料の編集作業に多く関わることができた。実際に、教師として児童生徒と共に、学習活動を実践できたことも尊い体験であった。

私は「幸せな星のもと」に誕生したように思っている。その理由は、三つある。

第一は、十歳の時に抱いた疑問の「塩津潟が正しいのか？紫雲寺潟が正しいのか？」が、私の生涯のライフワークになったからである。この課題解決のために、大学に進学できた。その上に、社会科の教員免許を取得することができた。採用された県が、新潟県である。新潟県の中でも、新発田市に赴任することができた。「塩津潟の由来」の探求は、新発田藩の新田開発と深く関わっていたので新発田

「星と月と共に送る生活を続けて」

伊藤 國夫

私は、小学生時代から夜空に輝く星たちを見上げることが好きな少年になっていた。昭和二十年代は、牛車に揺られながら星空を仰ぎ見ながら家路に着く事が多かったせいであろう。



塩津潟教育研究所

所長 伊藤 國夫

新潟県新発田市緑町3-3-8
TEL&FAX (0254)24-8397



塩津潟は塩の道
塩津潟の由来と郡域移置
伊藤 國夫



「塩津潟」の名称が、いつ歴史から消えたのか？
本書は
塩津潟に50年の歳月を
傾けた一教師の研究の記録である。

新発田藩 新発田 塩津潟 新発田

につくである。

秋は、稲束を満載にした牛車の上で星空を仰ぎながら「はき場」(刈った稲を乾燥させるために田もの木に架ける場所)に急いだ。

私の家は、農家であったので午後八時を過ぎることが常であった。だから、夜空の星たちは、大の仲良しになれたのだと思う。

私は、今でも自宅から見える二王子山から上ってくる月を拝むのが好きだ。これは、私のバイオリズムが、月の満ち欠けと密接に関連していることに気が付いたからである。

私が、星と月のとりこになった理由は、昭和二十年代のまだ空気が澄み切っていた星空を眺め尽くしていた小学校時代の影響が大きいと思われる。

胎内市の胎内平で開催される「星まつり」は、今年で二十五回開催されている。初回は、一九八四年である。星まつりの期間中に、数

回訪れているが、年々参加者が多くなってきている。また、内容が年々充実してきている。

そのために、多くの天文ファンが、胎内市の夜空にロマンを感じ取っている。私は、胎内平の星空が大好きである。

私は、「胎内牛を食う会」に、数回参加している。金星が輝き出す頃に、牛一匹の丸焼きが出来上がる。会の開演である。旧黒川村(現胎内市)の主権の恒例のイベントである。

伊藤孝二郎村長の発案であろうが、星空を眺めながらの高級牛は、高級感そのものである。胎内産の牛肉に当地生産の地酒やワインや地ビールの食卓は、夜空を一層高価な価値あるものに仕上げていた。

その胎内平は、現在星を観察する「胎内自然天文館」の施設が完成している。星まつりの中心施設である。新潟県内はいうに及ばず、県外からも来訪者が絶えない。伊藤村長は、

25th!! TAINAI STAR PARTY
at Tainai Hill, Tainai-Shi, Niigata pre-Aug.22(Fri)-24(Sun)

真夏の夜の祭典

胎内星まつり

2008

8月22日(金)午後24日(正午)

会場/新潟県胎内市胎内平

参加・入場無料

星ゆみの意匠では胎内星まつりです!
大自然のもと、星夜にわたる多様なイベントと満天の星、四季世紀の歴史を舞台でまた「世界最大の星まつり」!




胎内の空の下で、自然を体験。



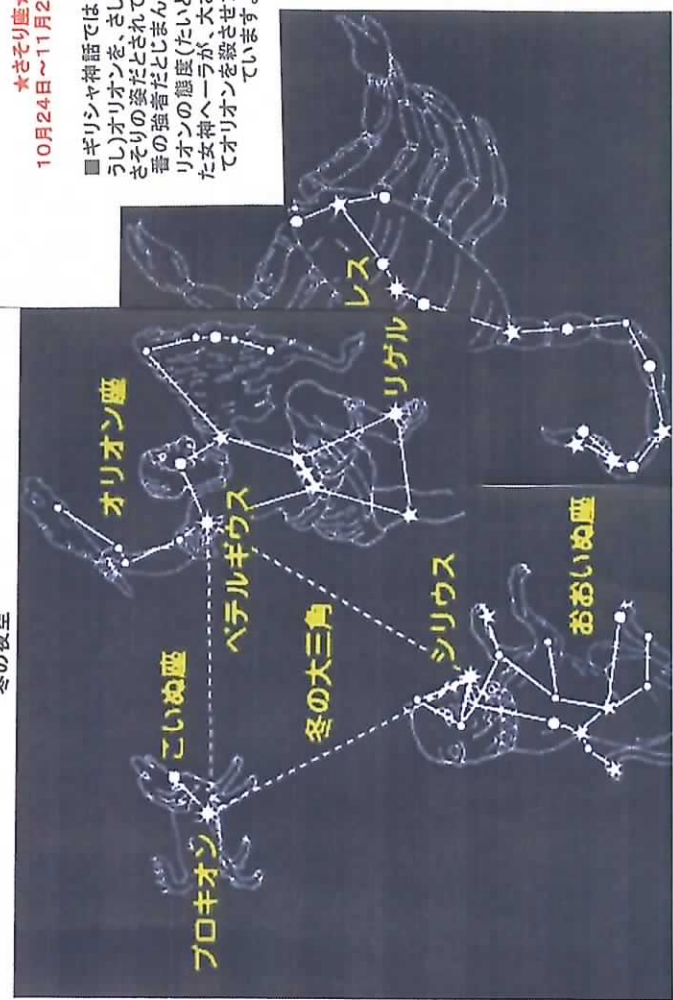
- 口径60センチ 反射望遠鏡
- 観測ドーム
- 館内展示ホール

この素晴らしい旧黒川村の「星の美しさ」を、村おこしの観光にいち早く着手したものと考えている。

伊藤村長は、山登りが大好きであった。飯豊連峰の登山をしながら、山小屋での星の鑑賞に、ロマンを感じていたのかも知れない。星を見ることの充実感を、他の人々にも感じてほしいという強い願いが、「星まつり」を考え出した原動力と思う。今年で、既に二十五回を数えている。

私は社会科の他に理科が大好きである。教師になってからは、理科専科の教師を担当したことがある。高学年の自然教室等では、夜間の「星空教室」を担当した。旧笹神村の五頭自然の家・旧黒川村の胎内平（下越スポーツハウス）・神林村のポータースター神林・旧中条町の乙自然の家等々を利用して、星の観測・観察に子どもたちを引率して学習活動を

冬の夜空



★さそり座★
10月24日～11月22日生まれ

■ギリシヤや神話では、猟師(りょうし)オリオンを、さし殺した、大さそりの姿だとされています。一書(いっしょ)の強者だとおぼしめして、オリオンの態度(たいど)におこつた女神ヘーラが、大さそりを放してオリオンを殺させたといわれています。

展開した。

その頃の子どもたちに、天体望遠鏡を購入し、現在も星を観測しているという。すでに三十歳代・四十歳代に達している。今でも星空を、愛でているその姿に、感心しながらも喜んでいる。

児童生徒に、指導して反省していることがある。新潟県立自然博物館のプラネタリウムの観察に行っても、単発に終わってしまうことが多いことである。各学年の発達段階を踏まえて、何度も体験することが大切である。

新発田市の場合は、「星空」を観察するのに、良い条件が揃っている。(一)新潟県立自然博物館 (二)みかわ天文台 (三)胎内自然天文館 (四)ポータースター神林 (五)新発田市生涯学習センター内の理科教育センター等々が、比較的近距离の中に揃っている。

また、施設設備だけでなく、人的な面でも



市町村合併で地図上からは消える沼澤さんの故郷・神林村の星空。クリックで拡大(イラスト:沼澤茂美(日本プラネタリウムポラトリ))



小惑星「かみはやし」の発見画像。クリックで拡大(提供:蒔迎和郎氏)

私が中・高校生の頃は、人工衛星の軌跡を追いつけたものである。それが現在では、宇宙の世界的な実験施設にスペースシャトルで往復できるところまで発達している。六ヶ月等の長期滞在まで可能になっている。人間の

「そのオーロラを、私が観測していたもので

敬和学園大学のオープンキャンパスに来られた講師先生にお話したら、

と、なかなか信じてくれない。しかし、

「新潟県にいてオーロラが見える訳がない。」

「オーロラ」の出現を話しても、

あつたからこそ遭遇できた体験である。

これは星空に感心が

十年も前のことである。

今から約五

空全体が、オレンジ色に輝いていた。

空全

を見たことがある。

（現胎内

新潟県中条町

私が中学生の時に、

のになつてくる。

阿賀北地方の「美しい星空」が一層身近なものになつてくる。

これらを今後十分に活用することによつて、

高い指導力を持った指導者が多いことも有力な要因である。例えば、沼沢茂美さん・小千田節男さんの他に、公的な天文館や博物館には専門の職員が待機している。

「そのオーロラを、私が観測していたもので

敬和学園大学のオープンキャンパスに来られた講師先生にお話したら、

と、なかなか信じてくれない。しかし、

「新潟県にいてオーロラが見える訳がない。」

「オーロラ」の出現を話しても、

あつたからこそ遭遇できた体験である。

これは星空に感心が

十年も前のことである。

今から約五

空全体が、オレンジ色に輝いていた。

空全

を見たことがある。

（現胎内

新潟県中条町

私が中学生の時に、

のになつてくる。

阿賀北地方の「美しい星空」が一層身近なものになつてくる。

これらを今後十分に活用することによつて、

高い指導力を持った指導者が多いことも有力な要因である。例えば、沼沢茂美さん・小千田節男さんの他に、公的な天文館や博物館には専門の職員が待機している。

オープン・カレッジ 地域会場

●「いのちと環境を見つめる」

私たちは、豊かな自然といのちを育んでいる地球に生きています。この地球上のいのちの営みと大きく環境に目を向け、地球市民として私たちにできることは何かを様々な視点から考えていきます。

<新発田市 会場>

- ▲ 6月 7日 (木) 「ソロー『森の生活』における自然と文明」 前学長 北垣 宗治 教授
- ▲ 6月 14日 (木) 「芭蕉・いのち・哲学」 延原 時行 教授
- ▲ 6月 21日 (木) 「いのち」への感受性－自然風景の現場から」 森本 大二郎 写真家
- ▲ 6月 28日 (木) 「水俣病と社会的損失－いまなぜみまたか」 坂東 克彦 弁護士
- ▲ 7月 5日 (木) 「中野孝次文学にみるいのち－日英の詩を交えて」 北嶋 藤郷 教授

新発田市オープン・カレッジにご夫婦でご参加の場合は、お一人さま500円引きとなります。

敬和学園大学 総務課
 新発田市富塚 1270 〒957-8585
 Tel. 0254-26-3625 ケガがけ付
 Fax 0254-26-3646
 kcop@keiwa-c.ac.jp




上が赤くなったオーロラ・wikipediaより抜粋



アラスカのオーロラ・wikipediaより抜粋

私は「北極星」については、驚いたことがある。冬季のドイツでのことである。新潟県では、北極星は北の方角に向けて少し目を上

更に言えば、塩津潟の中央に居住していた青田遺跡の縄文の人々も、塩津潟の水面に浮かんだ満月と北斗七星に見守れた北極星を、高く崇拝していたことだろう。

その根拠は、新発田市の五十公野に「古四王神社」が存在するからである。この神社は、いずれも、北を向いている。北極星と関連が深いということが分かった。大和朝廷軍は、船団を組んで行動することから、北極星を頼りに航海したものと推察される。古墳時代の阿賀北衆や遠方より遠征してきた防人たちも、阿賀北の夜空を、時間を忘れて見入っていたことだろう。

胎内市築地に存在したという説を主張している。

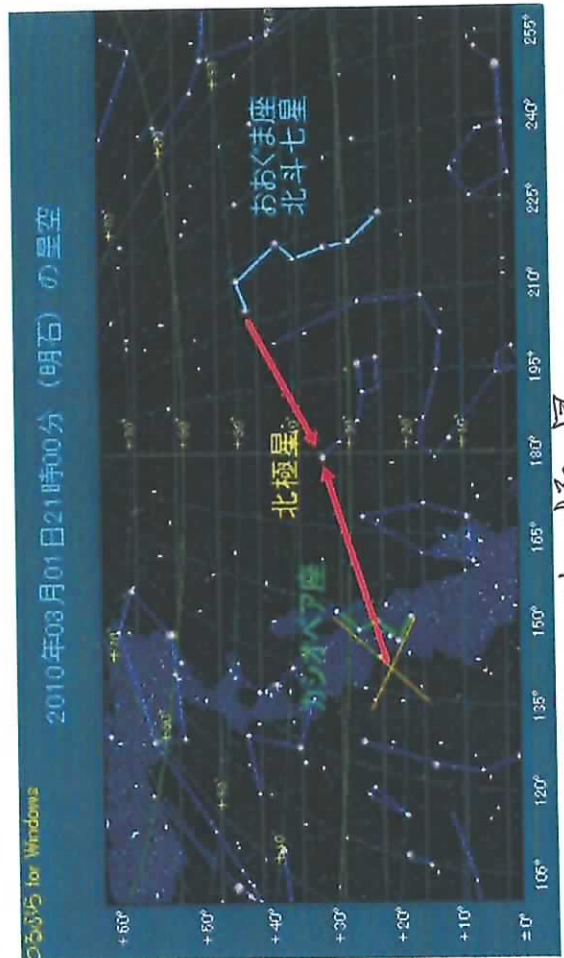
三城柵である。この中の「都岐沙羅柵」は、

（三）都岐沙羅柵【六五八年】
（二）磐舟柵【六四八年】
（一）新潟市

私に、都岐沙羅柵から述べる。私の社会科のライフワークは、「塩津潟の由来」と「都岐沙羅柵の比定地」の探求である。先に、都岐沙羅柵から述べる。

現に、小惑星の名前に、阿賀北地方の地名が認証されている。「かみはやし」「たいない」「くろかわ」等が、挙げられる。この快挙は、阿賀北人の誇りである。胎内市や村上市は、このことをもつともつと地域おこしに活用するべきであると思う。

阿賀北地方からも、宇宙の事業に関わる人材が沢山育ってほしいものである。知恵と努力は、月から火星へ。或いは金星等の星々への探査が継続している。



北極星



〔から-ムペ-シ〕

塩津潟の由来

English(英語)

塩津潟の由来と都岐沙羅柵(月さら) 1984年(平成6)開設

http://www.inet-shibata.or.jp/~shionnotsu/ 「塩津潟の由来」

潟の由来」を講話した。学生たちは、新発田市の郷土の歴史を理解してくれたものと思っている。

平成十五年の八月に、『塩津潟は塩の道』を二千部出版した。三百八十八ページの研究書が、刊行した。新潟日報の出版である。

平成十六年八月に第二版が、千部刊行した。

十七年三月に『塩津潟は塩の道』の英訳版を、千五百部刊行した。これらの著書が、各大学や「塩の道」に関わる島根県出雲市や和歌山県海南市等の各都道府県に多数配本されている。また、英訳版は、遠く海外にまで及んでいる。オーストリアのインスブルック市、ザルツブルク市・ウィーン市、トルコのミマル大学、モンゴルの美術館、オーストラリアの日本人学校等に配本されている。

「塩津」という地名や学校名とのネットワーク化が、推進している。塩津小学校は、島

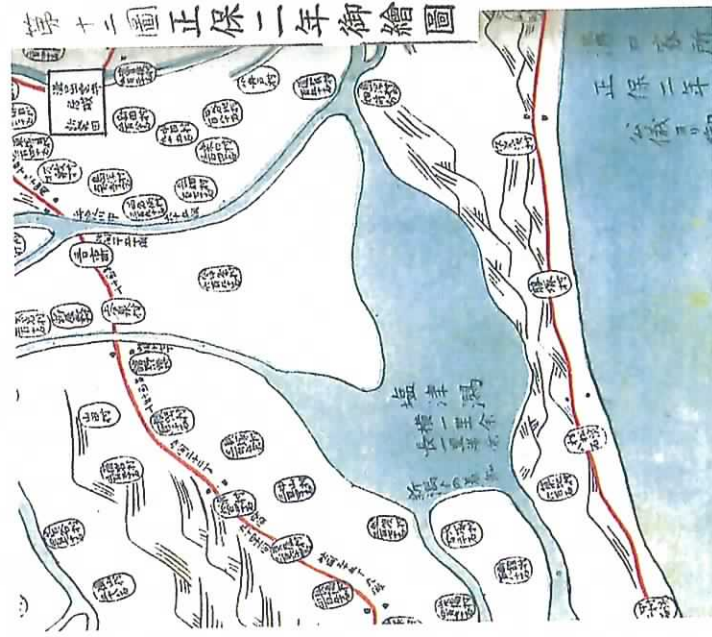
根県出雲市・滋賀県西浅井町・和歌山県海南市・愛知県蒲郡市等々に、現存している学校である。塩津中学校も、同様である。この他に、石川県七尾市に塩津海岸や静岡県焼津市の塩津等の「塩津」が、地域住民に愛されている。

また、塩浜小学校と塩浜中学校が、千葉県市川市と三重県四日市市にそれぞれ二校ずつ四校が現存し活動している。

これらはいずれも、塩を作った塩田があったり、製塩した塩を送り出した港があったことに由来する地名や校名である。

私のホームページ『塩津潟の由来』が、「塩の道」の普及に役立っている。平成六年に開設してからのアクセス数は、現在三二六一五回に達している。

「塩津潟」は、今まで「紫雲寺潟」という潟名で呼称され、記述されることが公文書に



学校訪問 2006/03/20

学校訪問の様子



島根県出雲市立塩津小学校

は、一段と美しいと思っっている。七夕伝説の牽牛星（わし座のアルタイル）と織女星（こし座のベガ）の年に一度のデートは、人間の人生の過ごし方に共通する愛の生き方さえ感じるものがある。

七夕と言え、天の川を思い出す。松尾芭蕉は、新潟で詠んでいる。

「荒海や 佐渡によこたふ 天河」と。

天の川の美しさを讀えたものと思っっている。

また、伊能忠敬は、『伊能図』を享和二年（一八〇二年）に新潟県の測量を実施している。伊能忠敬の『日本図』が、正確な理由には二つある。一つ目は、実測したことである。二つ目は、六分儀による「星」の観測を併用したことが大きかったことが分かつている。

「月」と言え、昨年の三月にオーストラリアに旅立つ新潟県からの月は、上弦の月であつた。しかし、南半球のメルボルンから見

る月は、下弦の月である。前記の南十字星の話題の時に、この月の話題に盛り上がった。

A氏は、話を進めた。

「この上弦の月と下弦の月をトリックに使つた推理小説があるよ。」

とのことである。世の中には、月齢を良く観察している人がいることに関心した。

月や南十字星を、六十二歳にして初めて赤道を越えて見た星々である。私は、冬と夏の星空を同時に見る体験をすることができた。

ロマンチックな旅を、することができた。

私は「塩の道」探求のため六十歳の秋に、オーストラリアの三市長と対談してきた。インズブルック市・ザルツブルク市・ウイーン市の各市長と塩の道と製塩について話し合つてきた。特に、ザルツブルクは、塩の城という地名である。

その機上の人となるたびに「水の星である

メルボルン日本人学校

学校訪問 H19.3.9 (祝)

メルボルン日本人学校

THE JAPANESE SCHOOL OF
MELBOURNE



教務室内の資料・教材



ザルツブルク市長と対談

地球」を、飛び出して機上の人となった。その都度感じることは、海の広いことに驚きながらも感激する。

海外のいろいろな国から星空を、そのたびに眺めてきた。

しかし、住み慣れた阿賀北地方から見る星空が、一番落ち着く気がする。それは、小さい時から見慣れた星たちと遭う事が、心の癒しになっているからだと思うようになった。

良寛さんの詩歌には、「月」にまつわる歌が多い。例えば、

「降る雨に 月の桂も 染るやと
 仰げば高し 長月の空」
 「ひさかたの 雲のあなたに 住む人は
 常にさやけき 月を見るらむ」
 「風はきよし 月はさやけし いざともに
 踊り明かさむ 老いのなごりに」
 「秋の野に 花のにしきの 露けしや

うらやましくも 宿る月かげ」等々
 日本人の月に対する情感が乗り移ってくるようである。

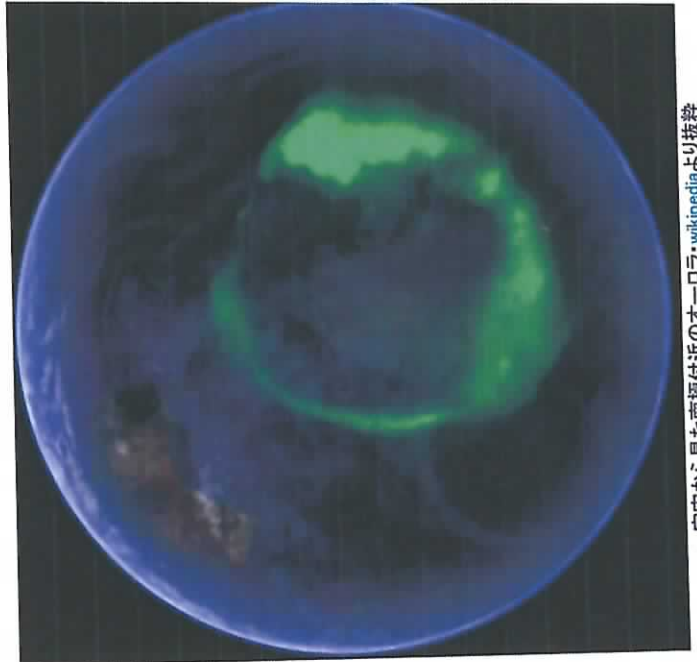
私は家族と一緒に、県立自然博物館等のプラネタリウムによく行った。その成果があったのか、長男は流星群に興味を持っている。長女は、誕生日の星占いに凝っている。

自宅は、市道拡幅に伴い平成元年に改築した。木造三階建ての玄関には、明り取りの窓が二つある。この窓は、玄関の中央に立つと月の軌道が良く追うことができる。また、月明かりが明るい時は、玄関に月の光が入ってきて明るい。

私は、はこれからも太陽・月・星の動きについて興味と関心を持って、毎日の生活を元気に続けていきたいと考えている。これからも、古四王神社の「北極星」や都岐沙羅柵の「月」等について、熱く語り継いでいくこと



月 Moon



宇宙から見た南極付近のオーロラ・wikipediaより抜粋

<p>良寛 1758年11月2日 - 1831年2月18日</p> 	<p>長岡市隆泉寺の良寛像 越後国 曹洞宗 国仙和尚</p>
<p>生地 宗派 師</p>	

を心に決めている。

私のライフワークの研究内容が、講演によつて啓発が継続している。「塩津瀉」と「都岐沙羅柵」についての講演が、続いている。

最近では、中俣の昔を語る会の「塩津瀉と大塚山（ひとかご山）」、新発田郷土史会の「古代社会における阿賀北の柵について」、中条プロバスクラブの「都岐沙羅柵の復活」等が、続いている。

講演は、平成六年から数えても七十回以上に達している。対象者は、大学生から小学生と語り合っている。その他に、各市町村主催の生涯学習課の講演が続いている。

その理由は、地域の住民が自分の住んでいる郷土の歴史を正しく理解しようという強い意欲を持っているからだと考えている。そのことは、講演後の参加者の感想に見ることができる。

「塩津瀉は、初めて知りました。紫雲寺瀉ではなかったのですね。」

「都岐沙羅柵は、村上・岩船にあったのではないのですね。」

「都岐沙羅柵が、胎内市に存在したという説は初めて知りました。」等々。

私の講演によつて啓発された内容が、多くの人々から聞かれた。これらの感想が、次の講演の依頼につながっているものと推察できる。

「伊藤國夫展」等の個展による啓発が、続いている。最近では、胎内市産業文化会館と新発田市市民ギャラリーで、「塩津瀉図とポスター展」を開催した。研究者としての研究内容、写真家としての写真、書家としての掛軸等の展示内容に、多くの方々に鑑賞をしていただいている。私は、新潟県庁内の「県庁ギャラリー」で一ヶ月間開催したことが、一番印象に残っている。

塩津瀉図とポスター展



NEW 第9回・第10回個展終了。個展の様子はこちらから NEW



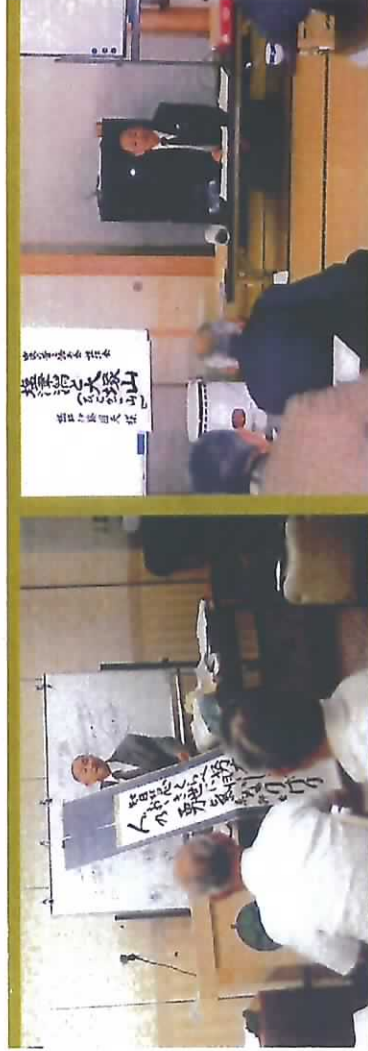
中条プロバスクラブの講演

これらの活動事例は、『BM 美術の杜』という全国版の専門誌で紹介されている。平成二十年十一月号の「伊藤國夫の軌跡」である。

“日本の美を辿る歴史研究博士”認定！

伊藤國夫の軌跡

Keiko ITO



「塩津瀧図」の展覧

第10回
塩津瀧図と
ポスター展

題目 塩津瀧図の成立と「口口」の行状
 講師 塩津瀧図の成立と「口口」の行状
 会場 国文学研究機関
 日時 平成二十年十一月十一日
 主催 国文学研究機関

「伊藤國夫の軌跡」の展覧

伊藤國夫展
 国文学研究機関
 平成二十年十一月十一日